

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年	2	選択
担当教員			
瀧上 勇次郎			
C (商学部)	S (専門科目)	EC (経済)	201 (中級科目)

授業のねらい (概要)	第2次世界大戦後、今日に至る現代日本経済の発展過程と構造変化を明らかにします。主要な分析視点として経済変動・産業構造・国際収支構造を設定し、日本経済の展開過程を戦後再建期・高成長期・安定成長期・経済改革期(定常経済期)の4つの段階に大きく時期区分して、各期の課題・特質を考察する。そして、近代化・高度成長を実現・達成し転換期に立つ現段階の日本経済の諸課題を明確にし、21世紀社会における今後の在り方を考える。
授業計画	<p>第1回 【遠隔】 オリエンテーション／市場経済とは何か、日本経済の基礎的知識や見方について。授業の運営方法、授業のねらい、学習の概要、成績評価の方法など 予習(時間)：今の自分にできる日本経済のイメージを描いてみる。(120分) 復習(時間)：日本経済を理解するための自分なりの視点を考えてみる。(120分)</p> <p>第2回 【遠隔】 日本経済の現状と課題(1)／時々の為替相場一円高や円安の背景・原因やその国内経済へ与える影響の問題など 予習：戦後の円相場の移り変わりを調べてくる。(120分) 復習：群馬県の経済情勢についても調べてみる。(120分)</p> <p>第3回 【遠隔】 日本経済の現状と課題(2)／バブル経済崩壊後のデフレ経済の背景・原因やその影響、デフレへの対応策、さらにはデフレ脱却について、など 予習：デフレギャップ・インフレギャップについて調べる。(120分) 復習：「経済政策」の狙いや内容を理解する。(120分)</p> <p>第4回 【遠隔】 日本経済の現状と課題(3)／国の予算の現状と見通し、財政赤字問題、プライマリー・バランス、財政再建策などについて 予習：なぜ財政再建が必要なのか、調べてみる。(120分) 復習：群馬県や高崎市の財政状態についても調べる。(120分)</p> <p>第5回 構造変化と経済変動(1)／人口問題とは何か、人口減少経済、少子高齢化対策(2025年問題)など 予習：なぜ人口減少なのか、またそれはなぜ問題なのか考えておく。(120分) 復習：各人自分なりに、少子化対策なり対応策を考える。(120分)</p> <p>第6回 構造変化と経済変動(2)／産業構造の変遷、経済成長パターン・景気循環の展開パターンの特徴など 予習：技術革新の役割について調べてみる。(120分) 復習：AIを中心とした「第4次産業革命」の影響を考えてみる。(120分)</p> <p>第7回 構造変化と経済変動(3)／経済のグローバル化、企業の海外展開、国際収支の見方、「雁行形態論」など 予習：群馬県内の企業の海外進出について調べておく。(120分) 復習：国際化やグローバル化のもたらす影響について考える。(120分)</p> <p>第8回 戦後再建期／「戦後改革」の意義、経済再建策、近代化への始動 予習：経済社会の「近代化」とは何を意味するのか、調べる。(120分) 復習：戦後改革の歴史的意義について理解を深めておく。(120分)</p> <p>第9回 【課題】 高度経済成長期／高度経済成長の要因、高度成長期の景気変動(神武景気やいざなぎ景気など)、経済大国へ 予習：国民生活の観点から経済成長の意義を考える。(120分) 復習：戦後改革に立ち返って、その後の高度成長の要因をまとめてみる。(120分)</p> <p>第10回 安定成長期／高度成長経済の終焉(ドル・ショック、オイル・ショック)、スタグフレーションなど 予習：新しい経済現象＝「スタグフレーション」について調べる。(120分) 復習：「供給サイドの経済学」の必要性や有効性について考えてみる。(120分)</p> <p>第11回 【課題】 安定成長期の国際経済関係／日米貿易摩擦、プラザ合意、「構造調整」(内需主導型経済)へ 予習：対米経済関係の変遷を貿易問題を通して調べてみる。(120分) 復習：国際協調、協力のあり方を日本の立場から考える。(120分)</p> <p>第12回 円高経済／バブル経済、その原因・崩壊と「平成不況」、平成不況後 予習：円高の要因、その日本経済へのインパクトを考える。(120分) 復習：バブル期における政府や日銀の対応策をまとめる。(120分)</p> <p>第13回 【課題】 日本の経済システムとは何か／日本社会の文化や歴史、日本型市場経済の特徴と問題点 予習：日本の文化や歴史について調べてみる。(120分) 復習：各自自分なりに日本型市場経済像を描いてみる。(120分)</p> <p>第14回 現代の世界経済と日本経済／資源・環境問題、先進諸国の問題と新興諸国の台頭など 予習：地球環境問題について調べておく。(120分) 復習：日本にとっての資源・エネルギー問題を考えてみる。(120分)</p> <p>第15回 まとめ—今日の経済改革期(定常経済期)の諸課題／21世紀社会における経済成長のあり方、経済社会の持続可能性、良好な国際経済関係のあり方を求めて 予習：「定常経済」とはどのような経済発展段階なのか、考えてみる。(120分) 復習：今後の日本経済のあるべき姿を考えてまとめる。また、地元・群馬県の今後の経済を展望してみる。(120分)</p>

授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	この授業では、DPに記載のある「専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力」を身に付ける。 【身に付くスキル】 課題解決力
到達目標	①日本経済の現状を理解できる。 ②日本経済の歴史や特質を理解できる。 ③日本経済の直面する課題を理解し今後の方向を考えることができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題レポートはチェックの上、返却する。
履修上の注意	ふだんからネット経済情報や新聞、テレビの経済関連報道に関心を寄せてもらいたい。 授業中は自分なりのノートをとること。
成績評価の方法・基準	①学期末の定期試験(70%) ②課題レポート(10%) ③学修意欲(20%)
教科書	とくになし
参考書・教材	【参考書】 渕上勇次郎著『イゴノミクスの世界』(2019)、そのほか授業中に必要に応じて紹介する。 【教材】 授業中に配付する。
備考	講義科目。第1回～第4回は遠隔授業として行い、第9回・第11回・第13回は課題研究として学習する。課題研究については、それぞれその前の回の対面授業において、課題研究についての指示・確認等を行う。課題研究はいずれも全体として330分の学習を想定している。
教員との連絡方法	メールによる(アドレスは授業で案内)